

Jはラウド。100Wrmsのスタックブルギターアンプ。

J-100

ワイドなサウンドバリエーションがライブパフォーマンスにキラリ。
パワーいっぱい100Wrmsギターアンプヘッド。

¥75,000

ライブにこそ最高力量を発揮する100Wrmsスタックブルタイプアンプヘッド。FET半導体を使用し暖かみのあるサウンドを実現。リバーブ、トレモロ、ディスト

ション、ブライトなどエフェクトコントロールも充実。2段階にボリューム設定し、フットスイッチで切り換えられるプリセットボリュームもライブなアイデア。

パワー：100Wrms (200W peak) @ 4-8Ω
インプット：1ch 2in(HIGH, LOW)
入力感度・インピーダンス：HIGH(-30dB-1MΩ), LOW(-14dB-136kΩ) @ 0dB=0.775V, VOLUME & TONE CONTROL max, BRIGHT & DISTORTION off, at 1kHz
アウトプット：TO SPEAKER(phone jack)×2, REC OUT(phone jack)
マッチングスピーカーインピーダンス：4-8Ω
フットスイッチジャック：DISTORTION, REVERB, TREMOLO, PRESET VOLUME
コントロール：VOLUME, BASS, MIDDLE, TREBLE, BRIGHT, DISTORTION, REVERB, TREMOLO SPEED, TREMOLO INTENSITY, PRESET VOLUME
定格電源電圧・周波数：100V-50/60Hz
定格消費電力：80W
サイズ：70.8W×21.2H×30.0Dcm
重量：16kg
付属品：VINYL COVER, FOOT SWITCH



ポリシイは明るく乾いたサウンド。
30cmスピーカーJA3059を2本マウントしたスタンダードな入力120Wrmsボックス。

J-100S

¥65,000

許容入力：120Wrms
インピーダンス：4Ω (2台並列接続不可)
スピーカー：30cm(JA3059, 8Ω)×2
エンクロージャ：CLOSED TYPE
サイズ：70.8W×82.5H×38.0Dcm
重量：37kg
付属品：VINYL COVER, CASTOR



明るく乾いたサウンドの30cmJA3059。
スピーカー4本による強力な出力感。
ヘヴィデューティな入力240Wrmsボックス。

J-140S

¥90,000

許容入力：240Wrms
インピーダンス：8Ω (2台並列接続可)
スピーカー：30cm(JA3059, 8Ω)×4
エンクロージャ：CLOSED TYPE
サイズ：70.8W×82.5H×38.0Dcm
重量：41kg
付属品：VINYL COVER, CASTOR



迫力ある低域と広い再生レンジ。
38cmJA3802を1本マウントしたクリアサウンドの入力120Wrmsボックス。

J-110S

¥70,000

許容入力：120Wrms
インピーダンス：8Ω (2台並列接続可)
スピーカー：38cm(JA3802, 8Ω)×1
エンクロージャ：OPEN TYPE
サイズ：70.8W×82.5H×38.0Dcm
重量：37kg
付属品：VINYL COVER, CASTOR



最もブライトで歯切れのよいサウンド。
25cmJA2557スピーカーを6本。
遠達性抜群の入力180Wrmsボックス。

J-160S

¥110,000

許容入力：180Wrms
インピーダンス：5.3Ω (2台並列接続可)
スピーカー：25cm(JA2557, 8Ω)×6
エンクロージャ：CLOSED TYPE
サイズ：70.8W×97.5H×38.0Dcm
重量：47kg
付属品：VINYL COVER, CASTOR



バックステージにはえる精悍なブラックフェイス。

SYSTEM-1

J-100 + J-100S × 1

¥140,000

こいつとロックンロールしてみたい。
乾いた音色がひときわブルージー。
あるいは軽くポップに迫ってもいい。



SYSTEM-2

J-100 + J-100S × 1

¥145,000

バランスのとれたヘヴィサウンド。
君はプログレ派かテクノポップ派か。
はたまたオールドウェイヴ派か。



SYSTEM-3

J-100 + J-100S × 2

¥215,000

3段階の威力も
ギミックではない。
ビッグライブに
ふさわしい速達性。
これはもう
エクスペリエーション。



SYSTEM-4

J-100 + J-140S × 1

¥165,000

クリアなサウンドと余裕のパワー。
ジャムなリードとメタルなサイド。
伝わるか、バイブレーション。



SYSTEM-5

J-100 + J-140S × 2

¥225,000

フルバンドにも
まさるスペクタクル。
遠達性、解像力、
ともにマキシマム。
ヘヴィにも。
アグレッシブにも。



SYSTEM-6

J-100 + J-160S × 1

¥185,000

ソリッドなほどの歯切れよき。
思いきりシャッフルしてみたい。
ハードピッカーの名を欲しきままに。



COLUMN 6：スタックブルタイプを使うならスピーカーのことも知っておきたい。

アンプヘッドに対してスピーカーボックスを選ぶ場合に、最低知っておかなければならないことが3つある。まず第1にインピーダンスの問題。第2に許容入力の問題。そして第3にスピーカーボックスの音色的特徴だ。順に説明しよう。

インピーダンス インピーダンスとは要するに抵抗のこと。アンプヘッドにはスピーカーマッチングインピーダンスとして、スピーカーボックスにはインピーダンスとしてそれぞれ表示されている。必ずこの2つのインピーダンス値がマッチングしていなければならない。つまり、スピーカーボックスのインピーダンスがアンプヘッド側の指定値の範囲に収まっていればいい。スピーカー側の値の方が小さくなる組み合わせは禁物。ショートに近い状態でもオーバードライブされ故障する恐れがあるからだ。さて問題となるのは2台以上のスピーカーボックスを使う場合。並列に接続するから、それぞれのインピーダンスを Z_1, Z_2, \dots, Z_n とすれば、トータルインピーダンス

$$Z$$

は、 $Z = \frac{1}{\frac{1}{Z_1} + \frac{1}{Z_2} + \dots + \frac{1}{Z_n}}$ と求められる。ヤマハのアンプヘッドJ-100, J-100Sには2つのTO SPEAKER端子がある。そしてスピーカーマッチングインピーダンス値は4-8Ωとなっている。だからJ-100S, J-160S, J-120Lの3機種については、2台のトータルインピーダンスが4Ω未満になるので2台接続ができないわけだ。

許容入力 スピーカーが最大限とだけだけの連続パワーに耐えるかを示したデータだ。必ずスピーカーボックスの許容入力がある。アンプヘッドの定格出力以上となる組み合わせを選ぶこと。ヤマハJシリーズスピーカーボックスは、すべてJシリーズアンプヘッドの出力以上の許容入力を持っているから問題ない。

スピーカーの音色的特徴 スピーカーボックスに使われているスピーカーユニットの特性、口径、数、そしてエンクロージャの形状によって音色が変わってくる。まず、スピーカーの

特性、Jシリーズではベース用のボックスには低域の特性を向上した専用ドライヴァーが使われているし、逆に高域特性はギター用ボックスに使われているスピーカーユニットの方が上というわけだ。次にスピーカーユニットの口径。大きい方が低域が充実し、解像力が増す。逆に小さい方が高域特性が向上するわけだ。スピーカーユニットの数は、多いほど音響出力が増し、各ユニットの担当するパワーが小さくてすむので余裕あるクリアなサウンドになる。最後にエンクロージャの形状。オープンタイプは能率よくパワーを音に変える。クローズドタイプは能率がやや落ちるかわりに、低域から高域までバランスよく届いた音になる。またベース用に使われるバックロードホーンやスプレッドは、スピーカー内部で消費されるはずのパワーのうち、低域のみを前面に取り出すことで低域の能率をアップするアイデアだ。